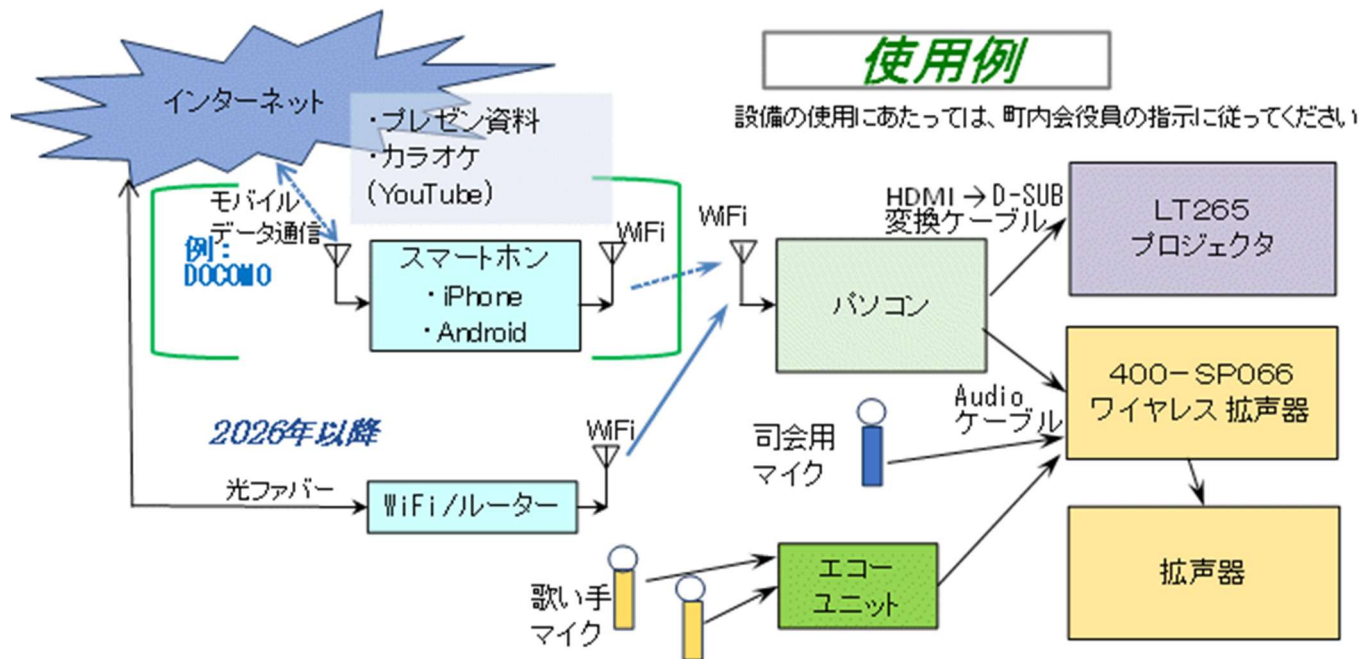


1. 概念図

設置の参考に概念図を次に示します。



2. 設置のポイント

下記の点を念頭にシステムを構築しました。

- ・コストを最小限にするために、YouTube（無料）を使用する
- ・歌い手用のマイク（2本）にのみ、エコーをかける
- ・司会者用のマイクにはエコーをかけない
- ・YouTubeからの音楽（演奏）には、エコーをかけない
- ・音量不足を避けるため、拡声器（アンプ+スピーカー）は、2台使う（2台ともに、音声、音楽を流す）
- ・オプションとして、必要なら歌い手専用に追加ディスプレイを設置可能

なお、スマートフォンから直接プロジェクターに送ることも可能ですが、表示画像のサイズに制限が出ます

プロジェクト取扱上の注意:

- ・電源を切った後の空冷ファンの回転中（約 90 秒）は、主電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜かないでください。ランブ寿命を著しく短くします。ランブは非常に高価です。
- ・リモコンにはレーザーポインター機能がついています。
レーザーポインターのレーザー光源を覗きこまないでください。
- ・その他、取扱説明書をご一読ください。

3. パソコンのインターネット接続

3-A : 憩の家に設置のWiFi 使用 (通常)

パソコンを憩の家に設置されたWiFi に接続します、接続用ID, PWは憩の家内に掲示してあります。

3-B : スマートホン使用 (参考)

スマートホンをWi-Fiルーターのように使用し、他のデバイスにインターネット接続を提供する機能を使います。

設定方法がわからない場合は、Googleなどで調べてください。スマホの標準の機能です。

iPhoneの場合: 「設定」→「インターネット共有」→「ほかの人の接続を許可」をONにする(接続料がかかります)。「Wi-Fi」ポートのパスワードをパソコンに設定します。

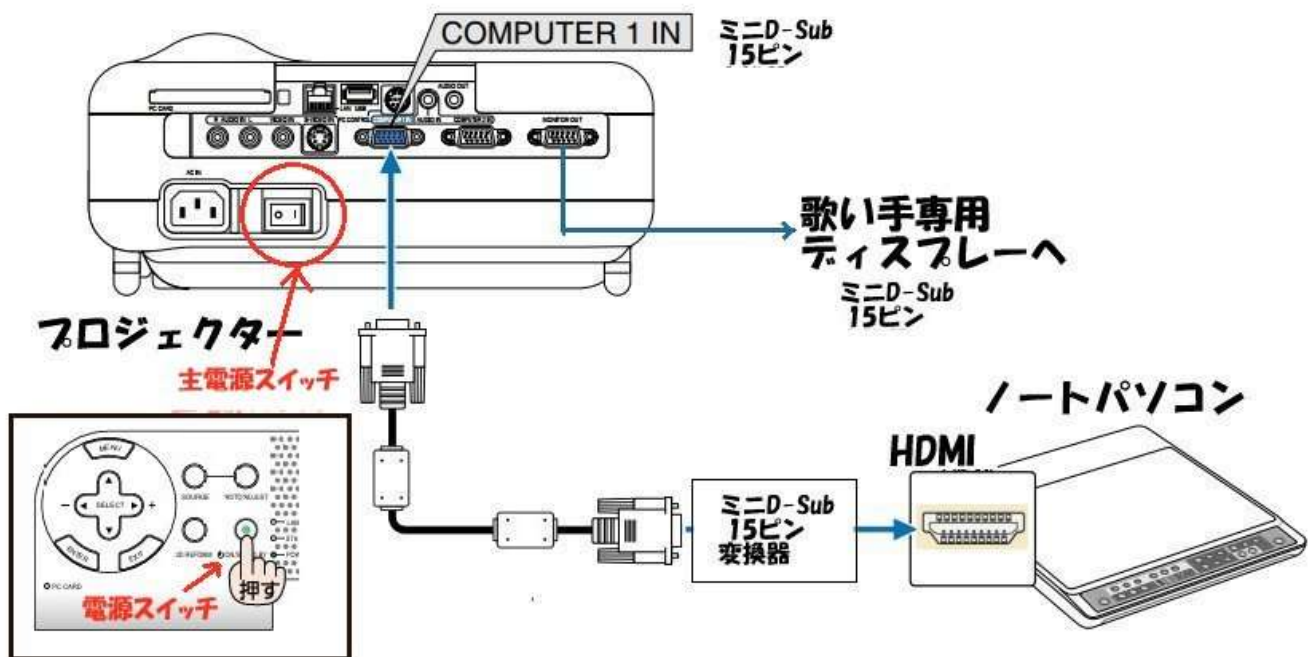
Androidの場合(テザリング): 「設定」→「ネットワークとインターネット」→「テザリング」→「テザリング方法」→「Wi-Fiテザリング」→「アクセスポイント名とパスワードを設定」

4. 配線

下図のとおり、ケーブルの接続を行います。

① パソコンとプロジェクターの接続 (画像) :

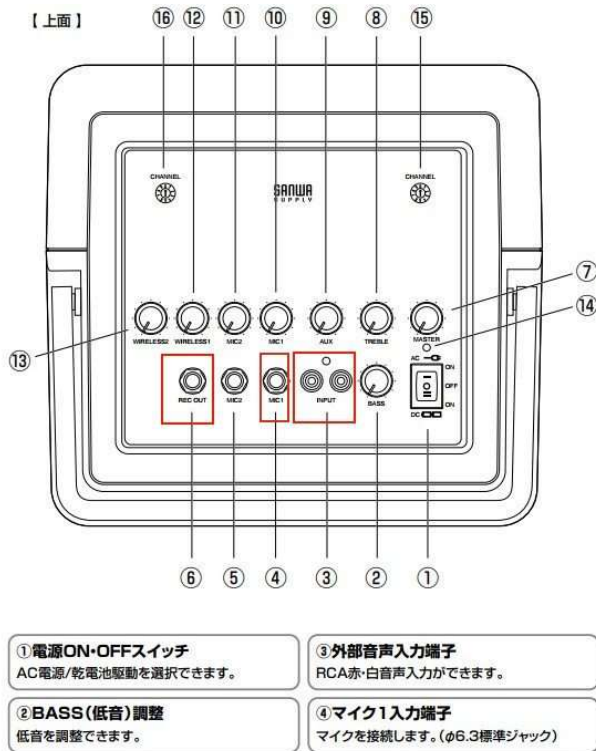
(注) パソコンの外部ディスプレイ端子が、「Display Port」の場合、「Display Port→HDMI変換器」を使います。「HDMI→ミニD-Sub 15ピン変換器」(写真あり)を使います。



② パソコンとワイヤレス・アンプ(400-SP066)の接続 (音声) :

パソコンの音声出力端子 (イヤホン端子/ステレオプラグ) と、もりあげくんの音声出力差込口 (白/赤)

を変換ケーブルで接続します。短い場合は、延長ケーブルを使います。

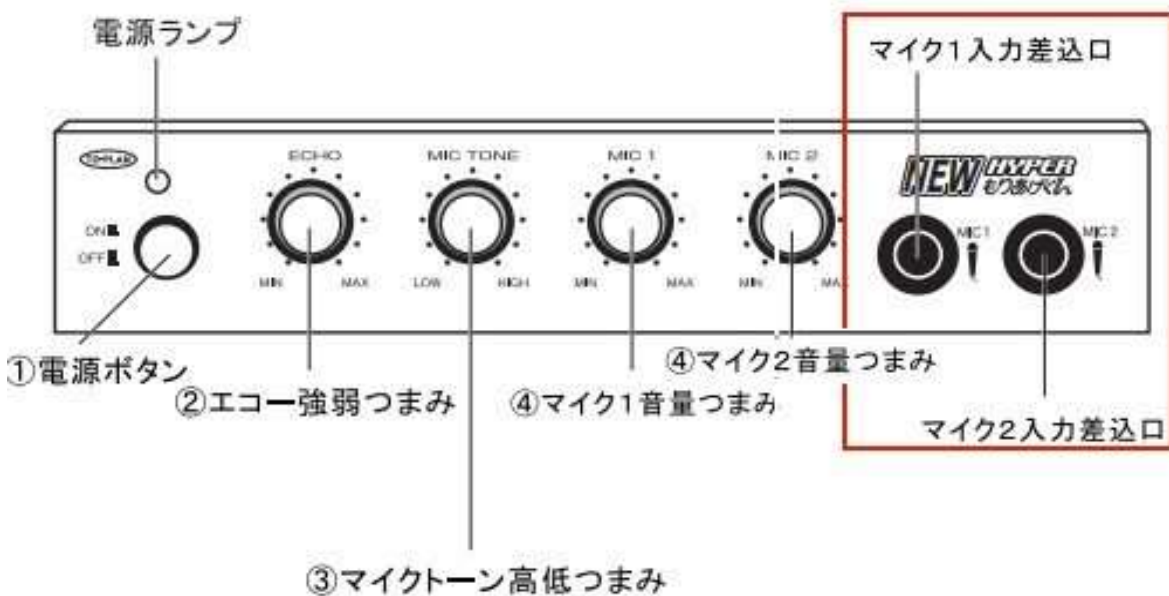


- | | |
|--|---|
| ⑤ マイク2入力端子 マイクを接続します。(φ6.3標準ジャック) | ⑬ チャンネル選択ダイヤル2 ワイヤレスマイク2のチャンネル周波数を選択します。 |
| ⑥ 外部音声出力端子 音声を出力できます。(φ6.3標準ジャック) | ⑭ 周波数レベル マイク入力の強弱を表示します。 |
| ⑦ マスターボリューム 本製品の基本音量を調整できます。 | ⑮ ワイヤレスマイク接続確認LED ワイヤレスマイクと周波数が合い、接続された場合に点灯します。 |
| ⑧ TREBLE(高音)調整 高音を調整できます。 | ⑯ 周波数レベル マイク入力の強弱を表示します。 |
| ⑨ 外部音声ボリューム 外部機器の音量を調整できます。 | ⑰ ワイヤレスマイク接続確認LED ワイヤレスマイクと周波数が合い、接続された場合に点灯します。 |
| ⑩ マイク1ボリューム 有線マイク1の音量を調整できます。 | ⑱ スピーカー部 |
| ⑪ マイク2ボリューム 有線マイク2の音量を調整できます。 | ⑲ マイクホルダー 未使用時のマイクを収納することができます。 |
| ⑫ ワイヤレスマイク1ボリューム ワイヤレスマイク1の音量を調整できます。 | ⑳ 背面カバー |
| ⑬ ワイヤレスマイク2ボリューム ワイヤレスマイク2の音量を調整できます。 | ㉑ 電池ボックス 電池駆動で使用できます。(単二形乾電池×8本) |
| ⑭ 電源LED 通電時点灯します。 | ㉒ AC電源コード 家庭用のAC電源で使用できます。 (一般家庭用100V電源)(ケーブル長約2.3m) |
| ⑮ チャンネル選択ダイヤル1 ワイヤレスマイク1のチャンネル周波数を選択します。 | ㉓ ハンドル |

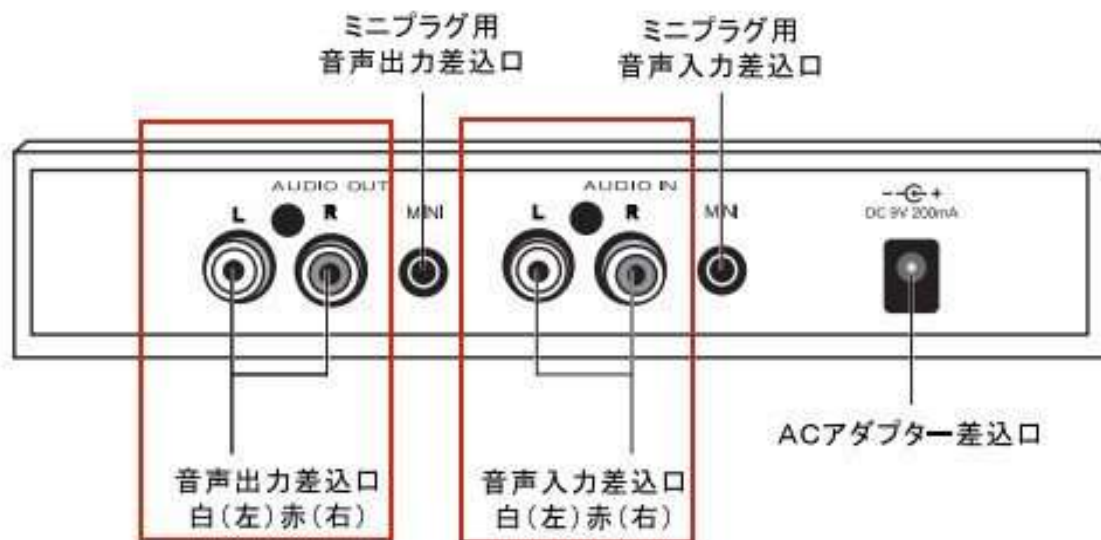
③ 司会用のマイク（エコー無し）をワイヤレス・アンプ(400-SP066)に接続します。

上図参照

④ 歌手用のマイク（デュエット用に2本用意）／エコー装置（もりあげくん）の「マイク1入力差込口」と、「マイク2入力差込口」に接続します。不明点は「もりあげくん」の取扱説明書をご覧ください。



⑤ もりあげくんの音声出力差込口（白／赤）と、をワイヤレス・アンプ(400-SP066)を接続します。



⑥ ワイヤレス・アンプ と、増強用アンプとを接続します。

ワイヤレス・アンプ と、増強用アンプは、広範囲に音声を届けるために、十分、離して設置する必要があります。その為、接続には長いフォーンケーブルを使用し接続します。

<注>ビーズスクリーンは、明るく鮮明な映像を正面から見やすいというメリットがある一方で、視野角が40度と狭く、斜めから見ると画面の両端が暗く、見にくいという欠点があります。ビーズの場合は、縦長に観客席を作ってください。横長に観客席を作ると、左右のはじの方には、見にくく（暗く）なります。

また、自立型のスクリーンでも、転倒防止のため、上部取手を壁などにひもで固定してください。

5. オプション・小型ディスプレイの設置

必要な場合、下記のケーブルを使用し、プロジェクターのモニター出力端子（ミニ D-Sub 15ピン）と小型ディスプレイを接続する。プロジェクター画面を見ることなく歌うことができます。



(注) コネクタ類の名称

プラグ拡大図



ステレオ
プラグ

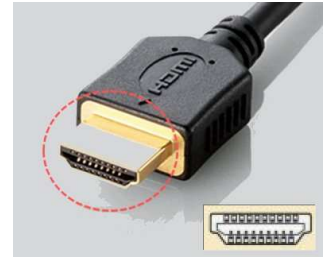
モノラル
プラグ



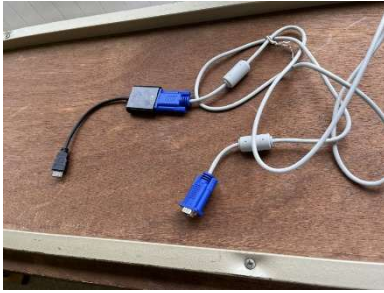
ミニ d-sub15ピン



RCA変換ケーブル



HDMI コネクタ



HDMI→ミニ d-sub15ピン 変換



フォンプラグ(モノ)

(参考資料)

- ・ワイヤレス・アンプ(400-SP066) 取扱説明書

http://banba.homedns.org/presentation/400-SP066_%E5%8F%96%E6%89%B1%E8%AA%AC%E6%98%8E%E6%9B%B8.pdf

- ・もりあげくん 取扱説明書 ——メーカーホームページ

- ・プロジェクター 取扱説明書 http://banba.homedns.org/presentation/NEC_LT265_manual_j.pdf

・小型ディスプレイ（追加モニター）、プロジェクターは、受信設備ではありません。アンテナを取り付けると、受信設備になるので、取り付けないでください。

また、NHKのインターネット配信が行われた場合、パソコンなどで受信用のアカウントの設定（ID登録）などをしなければ、受信設備にはなりません。

- ・機材、ケーブル類の一部は、馬場地区にお住いの方より寄贈を頂きました。ご協力、有難うございました。